

## 国の機関等による向こう5年間の国際会議等の北海道開催計画

	年度	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	参加人数
1	29	北太平洋漁業委員会（NPF C）第2回技術・遵守委員会、第1回財政運営委員会、第3回委員会会合	水産庁	29年7月10日～15日	札幌市	北太平洋公海における漁業資源の国際的な管理等について議論。	102名
2	29	2017寒地土木研究所および釜慶大学地質環境研究所による国際共同シンポジウム	（研）土木研究所寒地土木研究所（共催：釜慶大学地質環境研究所（韓国））	29年7月25日	札幌市	日本及び韓国の地盤環境の調査及び評価手法に関する研究に携わる研究者の技術情報の交換を目的として開催。	40名
3	29	中国・国家石油備蓄センター（NORC）との石油備蓄基地管理・運営に係る研修における現場研修	独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構	29年9月11日～15日	苫小牧市	石油備蓄基地管理・運営に係る研修における現場研修。	13名
4	29	先住民国際シンポジウム	内閣官房アイヌ総合政策室、国土交通省	29年11月25日	札幌市	2020年4月一般公開予定の民族共生象徴空間の意義やアイヌ文化の魅力等を共有し、アイヌ文化復興の動きとその理解の深化を図る目的として開催。	400名程度
5	29	日中韓水産研究機関長会議	国立研究開発法人水産研究・教育機構	29年12月17日～20日	札幌市	水産研究に関する三カ国研究機関長による会合。	30名
6	31	米国電気電子学会回路とシステム国際シンポジウム2019	米国電気電子学会回路とシステムソサイエティ、日本学術会議（予定）	31年5月26日～29日	札幌市	米国電気電子学会回路とシステムソサイエティが毎年開催する国際会議。	1,000名程度
7	33	2021寒地土木研究所および釜慶大学地質環境研究所による国際共同シンポジウム	（研）土木研究所寒地土木研究所（共催：釜慶大学地質環境研究所（韓国））	33年夏～秋	札幌市	日本及び韓国の地盤環境の調査及び評価手法に関する研究に携わる研究者の技術情報の交換を目的として開催。	40名

※ このほか、向こう5年間（平成29～33年度）に、北海道で開催する可能性のある国際会議等が6件ある。

※ 1～3は、平成29年11月9日現在において開催済み。

出典：国土交通省北海道局調べ

注1：国の機関等とは、各省庁、地方支分部局、各省庁が所管する独立行政法人、特殊法人などのことを指す。

注2：本資料の「国際会議等」は参加者総数10名以上、参加国数は日本を含む2カ国以上を対象としている。